

「神のギフトである永遠の救い」 ローマ4:1~8

はじめに： ジョン・ウェスレーの心が不思議に温められた時

I. キリストの救いは行いによらないで、信仰による

- * 信仰の対象：主イエスとその血潮（十字架による犠牲） ローマ 3:20~22、24~25
- * アブラハムの例 ローマ 4:1~5
- * 主イエスのたとえ話「パリサイ人と取税人」 ルカ 18:9~14

II. キリストにある計り知れない愛と恵み

- * ローマ 5:1、6~9、20
- * 親鸞による「恵み」とパウロによる「恵み」の違い
- * ローマ 6:1 = **第1質問**：「恵みが増し加えるために罪を犯しても良いですか。」
答え：とんでもない！ _____と一つになったので、罪に対して _____。
ローマ 6:2~4 (6:2~14)
- * ローマ 6:15 = **第2質問**：「律法ではなく、恵みの下にあるので、罪を犯しても良いですか。」
答え：とんでもない！あなたが自分の身を捧げて _____する相手の _____です。
最終的に2つの主人： _____と _____。
ローマ 6:20~22 (6:16~23)



おわりに：永遠のいのちという最高のギフト！！ローマ 6:23

グループの分かち合いのため：

1. ローマ 4:1~5 を読んでください。この箇所から一番印象に残ることは何ですか。
2. ルカ 18:9~14 を読んでください。パリサイ人と取税人の心の違いについて分かち合いましょう。
3. Iヨハネ 5:11~13 を読んでください。なぜ私たちは救いの確信を持てもますか。